自己評価結果公表シート

ピーエル学園幼稚園

１、本園の教育目標

パーフェクト リバティー教団の教義に基づいて、園児固有の人格を形成することを目的としている。愛情豊かで創造性に富み、かつ集団生活に適応する自己表現力をもった人間を育成する。

１、何事も神様を拝んでする子に育てる
１、心身共にたくましく、創造性豊かな子に育てる
１、進んで物事に取り組み、最後までやりとげる子に育てる
１、感じたこと考えたことを自由にはっきりと表現できる子に育てる

２、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育課程の内容を確認し、教職員の共通の展望を持ち、改善点があれば教職員全体でより創意工夫された日々の保育に取り組む。

３、評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	取 組 状 況
保育の計画性	幼稚園教育要領に述べられたことを基として、教育課程を編成し独自のアイデアを盛り込みつつ、計画性を持った具体的な指導計画に取り組んでいる。毎週の職員会議において指導の確認と次週への計画を述べる。
保育の在り方、幼児への対応	幼児の中に、何を育みどのような経験を必要としているかを園児ひとり一人に心からの愛情をもって接しながら、発達に必要な経験を積み重ねていくことが出来るように適切な援助を重ねていきたい。
教師としての資質や能力	教師の持つ資質・能力・人間性などが子どもに与える影響の大きさを自覚し、自分で自分の課題を見つけ専門家としての能力向上に努めている。
保護者への対応	保護者がいきいきと楽しく子育てができるよう、様々な方法で保護者を支援していく。保護者自身が持っている子を立派に育てたいと思う心を引き出し生かし、発揮できるような場を作る。
地域の自然や社会との関わり	幼稚園から小学校への移行を円滑に行えるよう、付属小学校の教師と互いの教育の在り方や課題を話し合い把握し、日々の保育に努めている。

	幼児をとりまく地域の自然や社会のかかわりがどうあれば良いかを考える。
研修と研究	自らの自己課題をもって、各種研修会に参加するよう努める。個々の得意な分野を保育に生かせるよう、自己研鑽に努める。また、子どもたちを取り巻く様々な状況が時代と共に変化していることについて学習し幼稚園における教育内容の改善点を話し合う。

４、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組んで行かなければならない課題を全教職員が共通認識し、毎週の職員会議において、その状況を話し合うことにより、本園の方針を具体化でき、実践に取り組む事が出来た。

５、今後取り組むべき課題

園児はそれぞれ独特の個性を持っているのと同時にあらゆる可能性を持っているところに着目し、以下にあげる保育外のメニューを用意して園児個々の能力を上げることに私たちは努力を惜しみません。

課　　題	具体的な取り組み方法
特性を生かした課外保育 （保育カリキュラムの他に専門家による保育外メニューを提供する）	「土に親しみ、収穫の喜びをしる」をコンセプトに農園を活用し種まき、栽培、収穫、食べるというプロセスを経験した。さらに野菜の種類や旬をふまえて野菜づくりへの愛情を深め、食育につなげてゆく。
	「ピアノ」の取り組み 個人レッスンならではの、ひとり一人に合った教材や練習を通して、演奏力、表現力、集中力をはじめ様々な能力を養う。
	「皆で踊ろう」の取り組み リズムに乗って踊ることで健全な心と体をつくり、芸術的センスを磨き、集団の中における協調性と表現力を身につけていくことを目標にする。
	「英語であそぼう」の取り組み アメリカ生れのネイティブスピーカーから英語を学ぶことで言葉だけでなく英語圏の文化の習得を目指す。
	「実験しよう」 実験を通じて、驚きと不思議を体感し、「なぜ何だろう？」という興味を持つ。
	「楽器を楽しむ」 私たちの身近なもので廃材を利用し楽器を作ることを楽しみ、はじいたり叩いたりしながら想像力を養いつつ音楽の楽しさを感じる

６、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

令和5年度　ピーエル学園幼稚園関係者評価委員会名簿

令和６年４月１日

名　　前	役　　職
後藤　多加志	ピーエル学園中学・高等学校長
鳥居　正哉	ピーエル学園小学校長
山本　浩勝	ピーエル学園幼稚園真満の会（保護者会）会長